



KOYO SEIKI COMPANY PROFILE

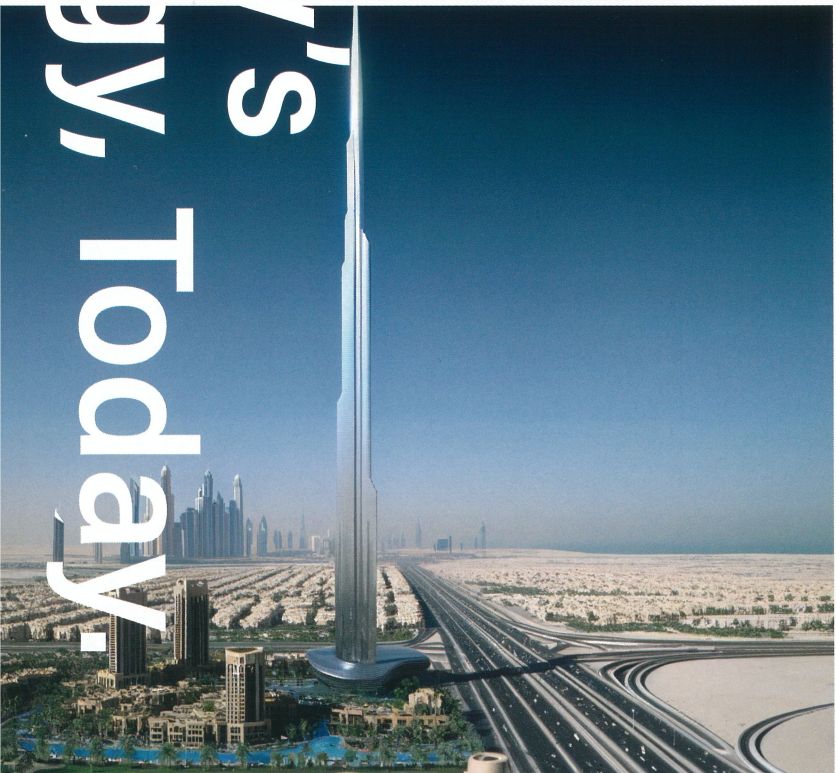
Hydraulic Dampers & Cylinders



最高品質のシリンダー・ダンパーを提供する

光陽精機株式会社

Tomorrow's Technology, Today.



Our Mission 我々の提供する価値

あらゆる分野に、 光陽精機の油圧ソリューションを。

Every field, Koyo Seiki's hydraulic solutions

1954年(昭和29年)の設立以来、光陽精機は一貫して油圧機器の専門メーカーとして着実な実績を積み上げて参りました。油圧テクノロジーに精通した開発・生産力で、光陽精機の製品は、さまざまな産業分野で活躍する多様な機器に広く採用され、長年に渡り多方面からの幅広い支持をいただいています。特に建設機械分野においては、世界トップクラスの長尺シリンダ製作技術を誇っています。さらに近年は川金ホールディングスグループ各社との連携を強化し、オイルダンパー技術を用いた自社開発製品を積極的に展開、免・制震分野においても国内外で高い評価を得ております。

今後大きな発展が期待される環境・エネルギー分野においても、産業の基盤を支え、安心・安全な持続可能型社会の実現に貢献します。



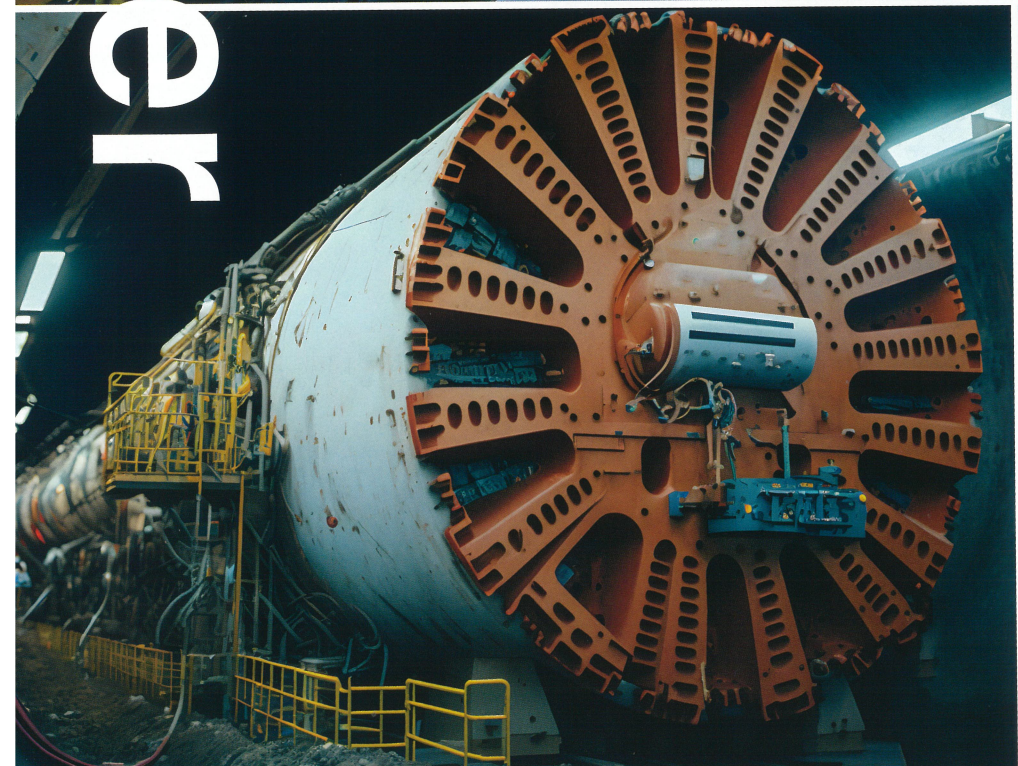
代表取締役社長
鈴木 信吉

Shinkichi Suzuki
President





Hydraulic Cylinder



Hydraulic Cylinder 油圧シリンダー

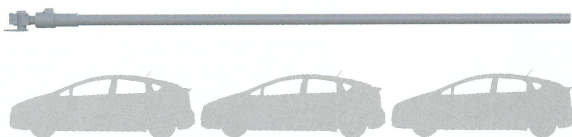


産業の基幹を支える、多彩な油圧シリンダ製品

Various hydraulic cylinders that support the backbone of industry

油圧シリンダ専門メーカーとして70年を超える実績の上に、先進の技術を搭載した光陽精機の油圧シリンダ製品は、土木・建設機械や産業車両、一般産業機械、船舶など、世界の幅広い産業分野で高い信頼を得ています。特に長尺・特殊用途用の小ロット高品質製品や特殊製品において優れた開発・生産技術を有し、小型から長尺・大型シリンダまで、性能、形状、コストなどのあらゆるニーズにきめ細かく対応致します。

／ 長尺シリンダー最大ストローク12,500mm ／



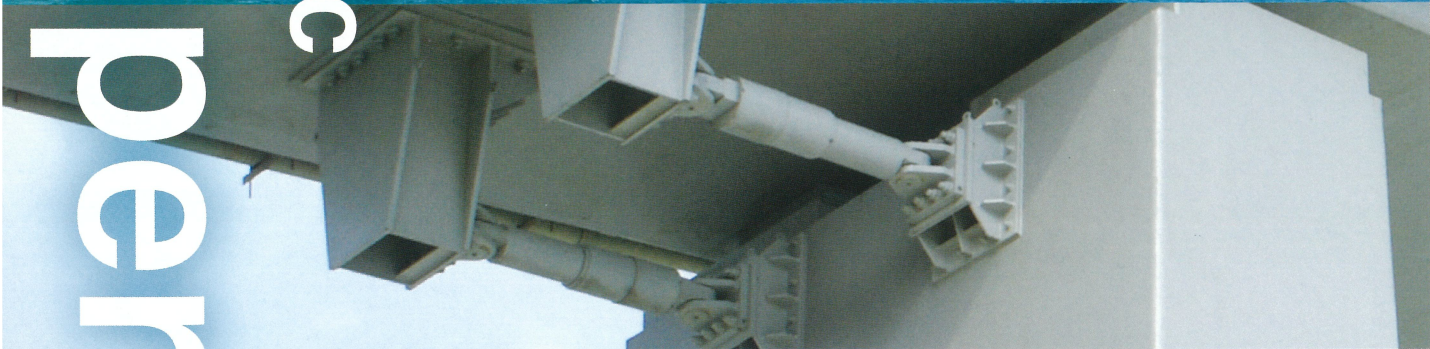
油圧シリンダーの製造能力

		長尺シリンダ	超大型シリンダ	大型シリンダ	小径シリンダ
対応範囲	内径 (mm)	φ80～φ230	φ500～φ800	φ150～φ500	φ50～φ80
	最大ストローク (mm)	12,500	～ 9,000	5,000	1,800
	最大圧力 (MPa)	35	70	64	35

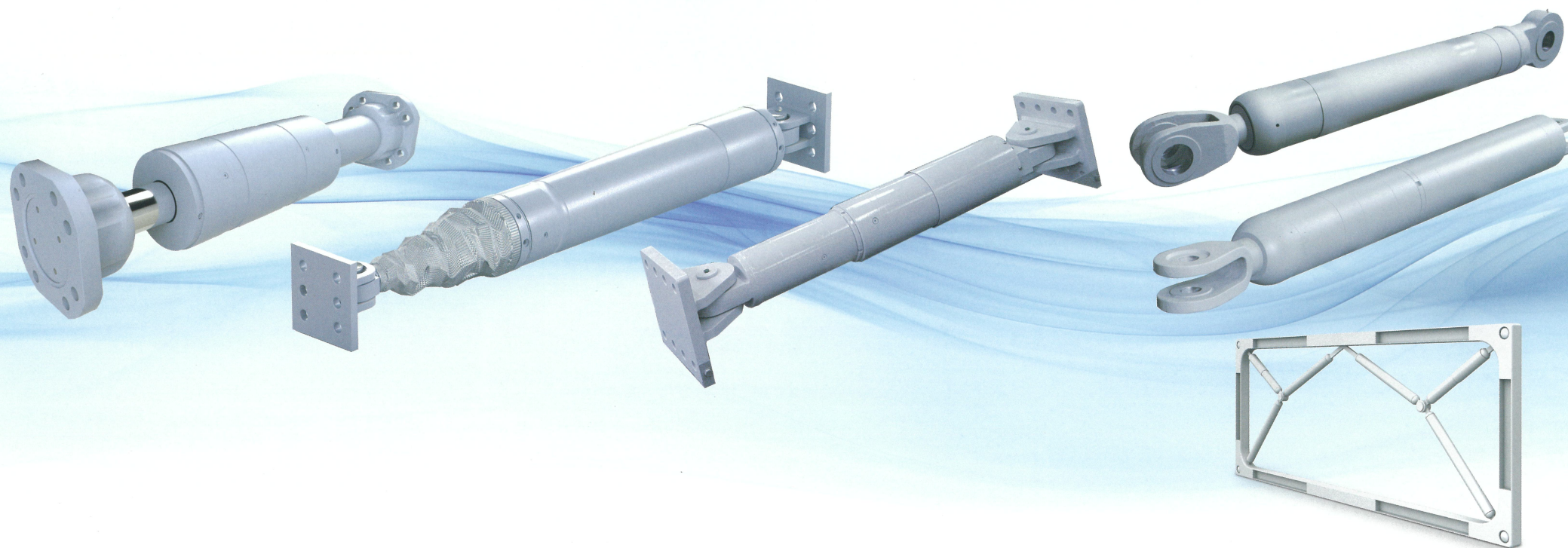
上記サイズ以外もご相談ください。

Damper

Hydraulic



Hydraulic Damper ダンパー

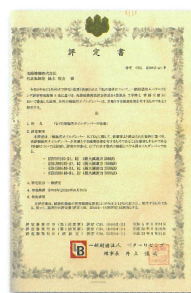


「揺れや振動を吸収するテクノロジー」で、あらゆる構造物の確かな安全を守る。

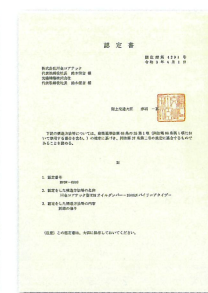
"Technologies that absorb shaking and vibration" ensures the safety of all structures

一般建築物から重要インフラ施設まで、あらゆる構造物の地震時の大きな衝撃力に対し、構造物全体の減衰性能を高め、振動エネルギーを確実に低減する免・制震デバイスを開発。建築物の安全性を、効率的かつ飛躍的に高めています。

高度な油圧・シリンダー技術を駆使し、地震や台風時の揺れを吸収する高性能制震デバイス「KVD（粘性ダンパー）」や、鋼材の塑性変形性能を活用することで、既設橋梁の桁遊間量のような小さな変位量にも大きな減衰力を発揮する「制震ストッパー」など、常に明日の技術シーズを先取りした制震テクノロジーを実現しています。



第三者機関による一般評定

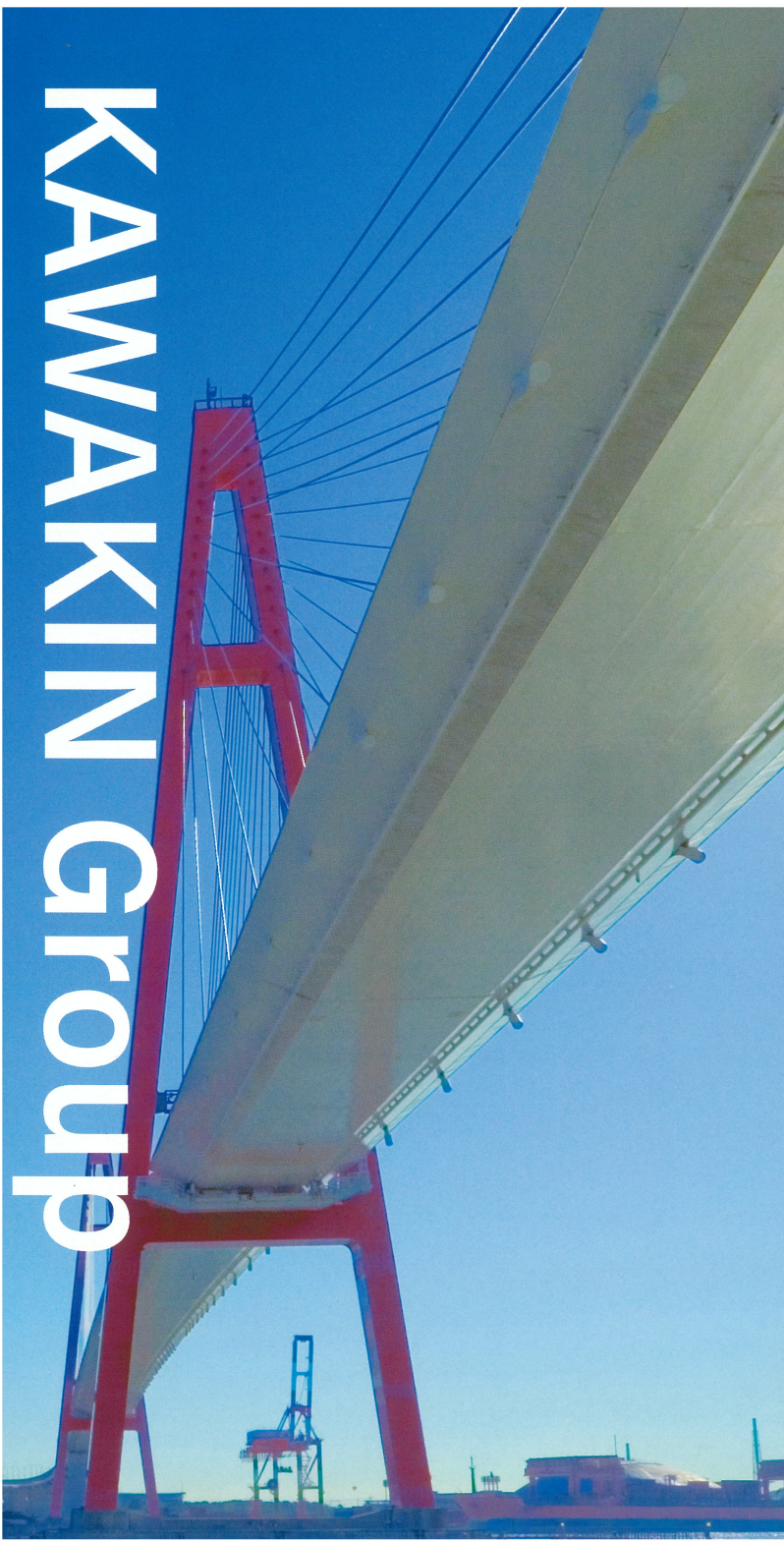


国土交通省大臣認定

オイルダンパーの減衰力

	減衰力 (kN)
KYD 制震ダンパー	500～2,000 4種2パターン 一般評定取得
KVD 制震ダンパー	100～2,000
AD 制震ダンパー	200～800
KYM 免震ダンパー	750・1,000 国交省大臣認定取得

上記以外にもご相談ください。



KAWAKIN Group





KAWAKIN Group

川金グループについて



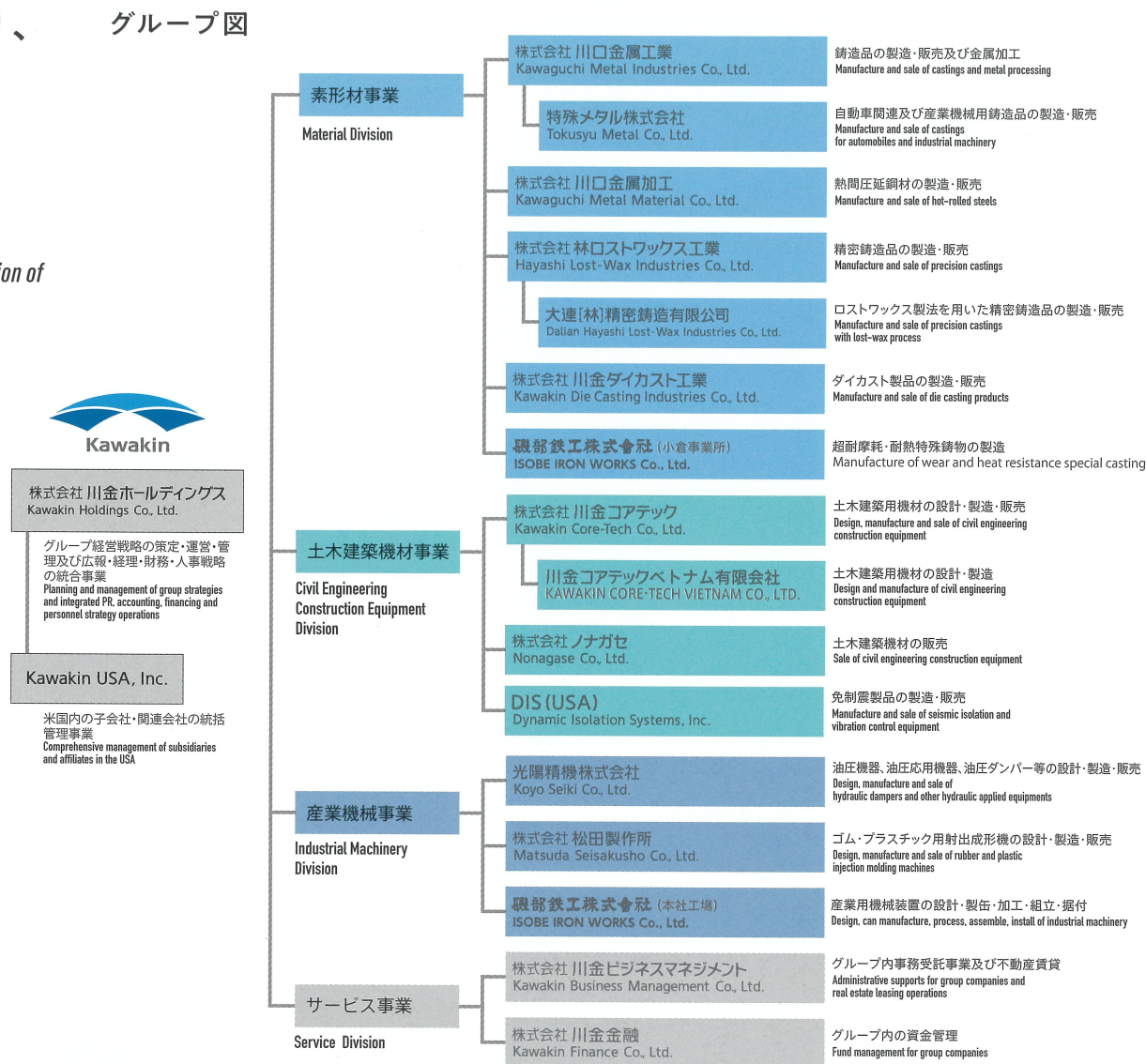
コア・テクノロジーの戦略的推進により、
革新的な技術シーズを事業化し、
新たな事業分野の需要創出に
取り組んでいます。

We will commercialize innovative technological seeds through the strategic promotion of our core technologies, and create demand in new business fields

川金ホールディングスグループは、自動車・製造装置・船舶・エネルギー、工作機械設備、橋梁・建築免制震化、既存建物耐震補強、土木工事、建設機械、射出成形業界などの、社会・生活基盤事業をリードする産業界のソリューション・パートナーです。

当グループの事業は、素形材（精密鑄造・ダイカスト・圧延鋼材・鋳鋼・鋳鉄）、土木建築機材（橋梁用免制震装置・デバイス・建築用免制震装置）、産業機械（油圧ダンパー・油圧シリンダ・射出成形機）という、3つの専門技術分野をベースにしています。

当グループは、ナレッジ・シェアされた「企画・ノウハウ・経験」、そして、オープンエンドな設計力と現場力の「リレーションシップ」を源泉に、最先端の技術シーズを市場の要請に応じていち早く最適化させ、新たな事業分野の需要創出に挑戦します。



Manufacturing capacity 生産能力



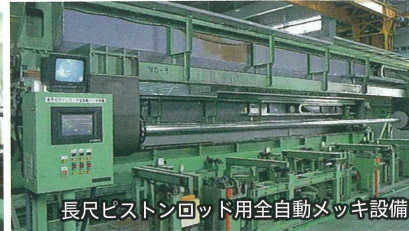
国内最大級3000kNダンパー試験機



大口径ピストンロッド用NC旋盤



長尺FRバッシング



長尺ピストンロッド用全自動メッキ設備



超大型複合加工機



部品加工用大型複合加工機



中尺ピストンロッド用全自動メッキ設備



加圧試験装置



長尺ピストンロッド用NC旋盤



短尺シリンダ塗装ブース



超長尺ピストンロッド用メッキ設備

高い信頼性を製品に結実させる生産設備と体制

Manufacturing facilities and systems that ensure highly reliable products

多品種少量生産、特に長尺や大型シリンダ、特殊シリンダの開発製造を得意とする光陽精機では、多彩な仕様に対応する各種生産設備を揃え、高品質と高効率を同時に追求する一貫生産体制を整えています。

また、試験棟には自社開発の日本最大級の大型オイルダンパー試験機を設置し、徹底した全品検査を行っています。充実した設備とスタッフによる柔軟かつ着実な生産体制で、お客様の期待と信頼に確実に応える最終製品をお約束します。



Company Profile 会社概要

概要

商号	光陽精機株式会社
設立	1954 年 (昭和 29 年) 9 月 11 日
資本金	4,000 万円
代表者	代表取締役社長 鈴木 信吉
主要事業	油圧シリンダ・オイルダンパー・油圧ジャッキ 油圧応用機器の設計、製造、販売
本社	〒300-4515 茨城県筑西市倉持 422 番地
つくば工場	TEL. 0296-52-1311 FAX. 0296-52-0236
東京事務所	〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3-10-4 寿ビルディング 10 階 TEL. 03-4329-1311 FAX. 03-4329-1310

沿革

- 1954 年 東京都江戸川区に会社を設立。
- 1957 年 油圧シリンダの製造販売に着手。
- 1960 年 本社および工場を千葉県船橋市に新設移転。
- 1970 年 事業拡大に伴い茨城県明野町（現筑西市）に明野製作所新設。
- 1976 年 船橋工場を閉鎖し明野製作所に集約移転。
本社業務を船橋市葛飾町に移転。
- 1991 年 長尺ピストンロッド用全自動メッキ工場増設。
- 2000 年 オイルダンパーの製造販売に着手。
- 2002 年 オイルダンパー用 3000kN サーボ試験機新設。
- 2005 年 市町村合併に伴い工場を明野製作所からつくば工場に名称変更。
- 2008 年 中尺ピストンロッド用 全自動メッキ・塗装工場増設。
- 2011 年 制震用ダンパー 一般評定取得。免震用ダンパー 大臣認定取得。
- 2013 年 ダンパー試験棟増設。
- 2014 年 オイルダンパー用 3000kN 国内最大級新型サーボ試験機増設。
- 2017 年 超長尺ピストンロッド用メッキ設備増設。東京事務所を開設。
船橋本社事務所を閉鎖しつくば工場に本社移転。
- 2018 年 KES 環境マネジメントシステム・ステップ 1 認証取得。



Tomorrow's Technology, Today.

Kawakin Holdings Group

光陽精機株式会社
Koyo Seiki Co., Ltd.

www.koyo-sk.co.jp



【本社・つくば工場】

〒300-4515 茨城県筑西市倉持 422 番地
TEL. 0296-52-1311 FAX. 0296-52-0236

【Head office・Tsukuba plant】

422 Kuramochi, Chikusei-shi, Ibaraki, 300-4515, Japan
TEL. +81-296-52-1311 FAX. +81-296-52-0236

【東京事務所】

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3-10-4
寿ビルディング 10F
TEL. 03-4329-1311 FAX. 03-4329-1310

【Tokyo office】

Kotobuki Building, 10th Floor, 3-10-4 Iwamoto-cho,
Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0032, Japan
TEL. +81-3-4329-1311 FAX. +81-3-4329-1310